



WILLER

# MaaSの普及に向けた制度のあり方について

For 交通政策審議会交通体系分科会第16回地域公共交通部会

# 移動体験を変革 社会課題を解決

# WILLERS MaaS Innovation Pyramid



**Social  
Innovation**

車を所有することから解放  
人々の生活のスタイルの変化  
豊かでストレスフリーな社会

**Business Innovation**

移動プラットフォーム  
(インフラ)  
を活用した新たなビジネスの開発

統合型 MaaS

**Infrastructure Innovation**

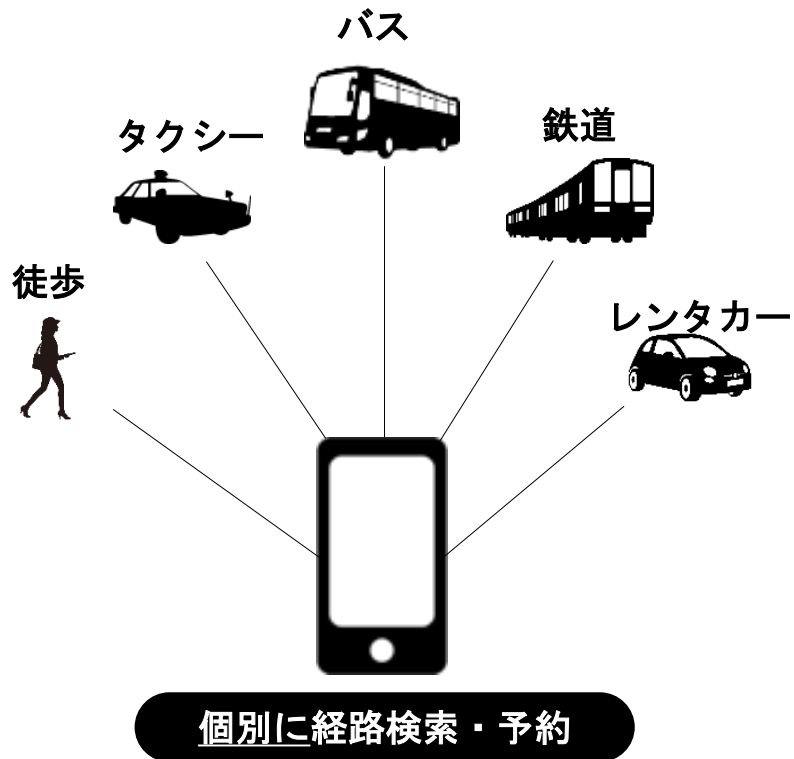
移動プラットフォーム (マイカー < MaaS)

既存交通 + 新たな交通  
あらゆる交通サービスを集積させた  
移動プラットフォーム基盤の構築

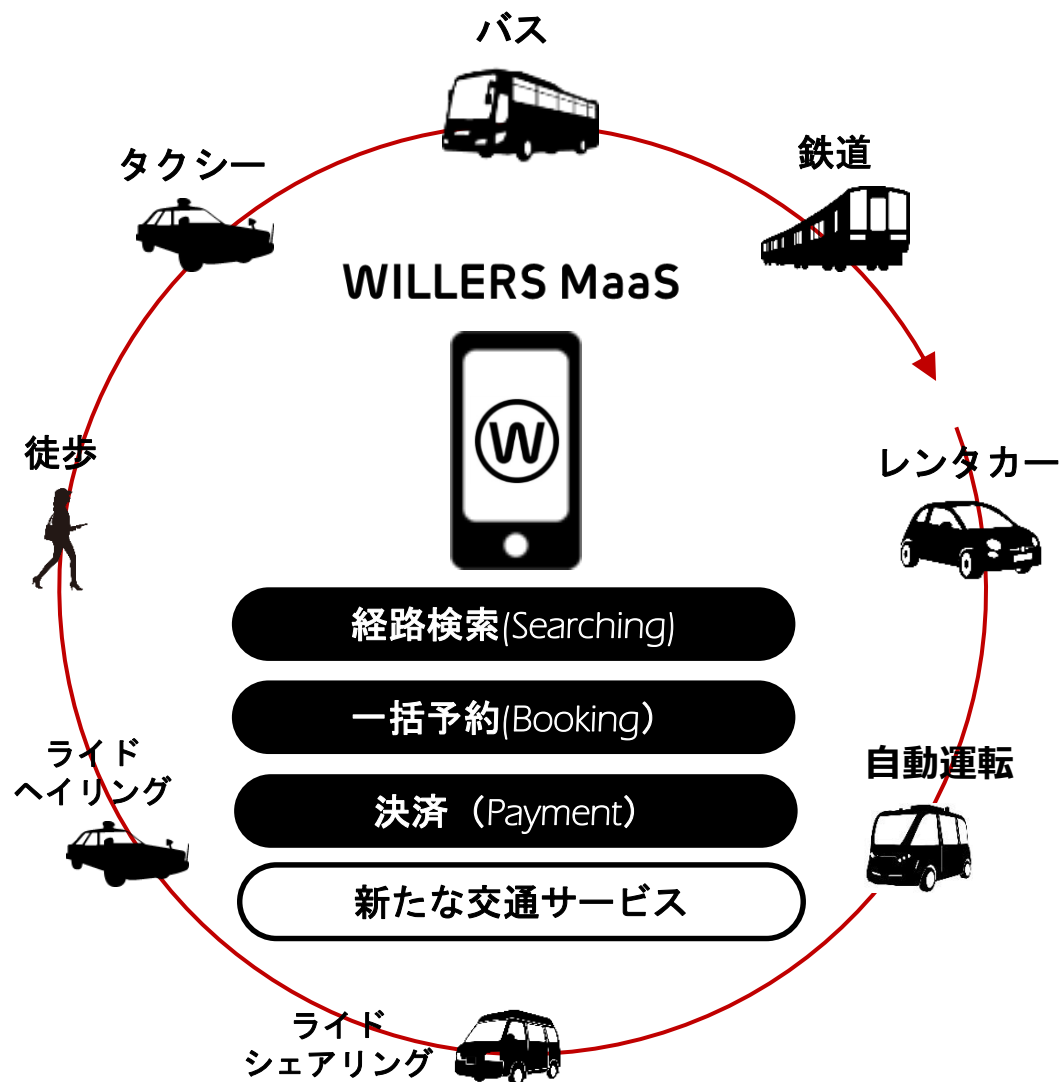
# WILLERS MaaS



現在



これから





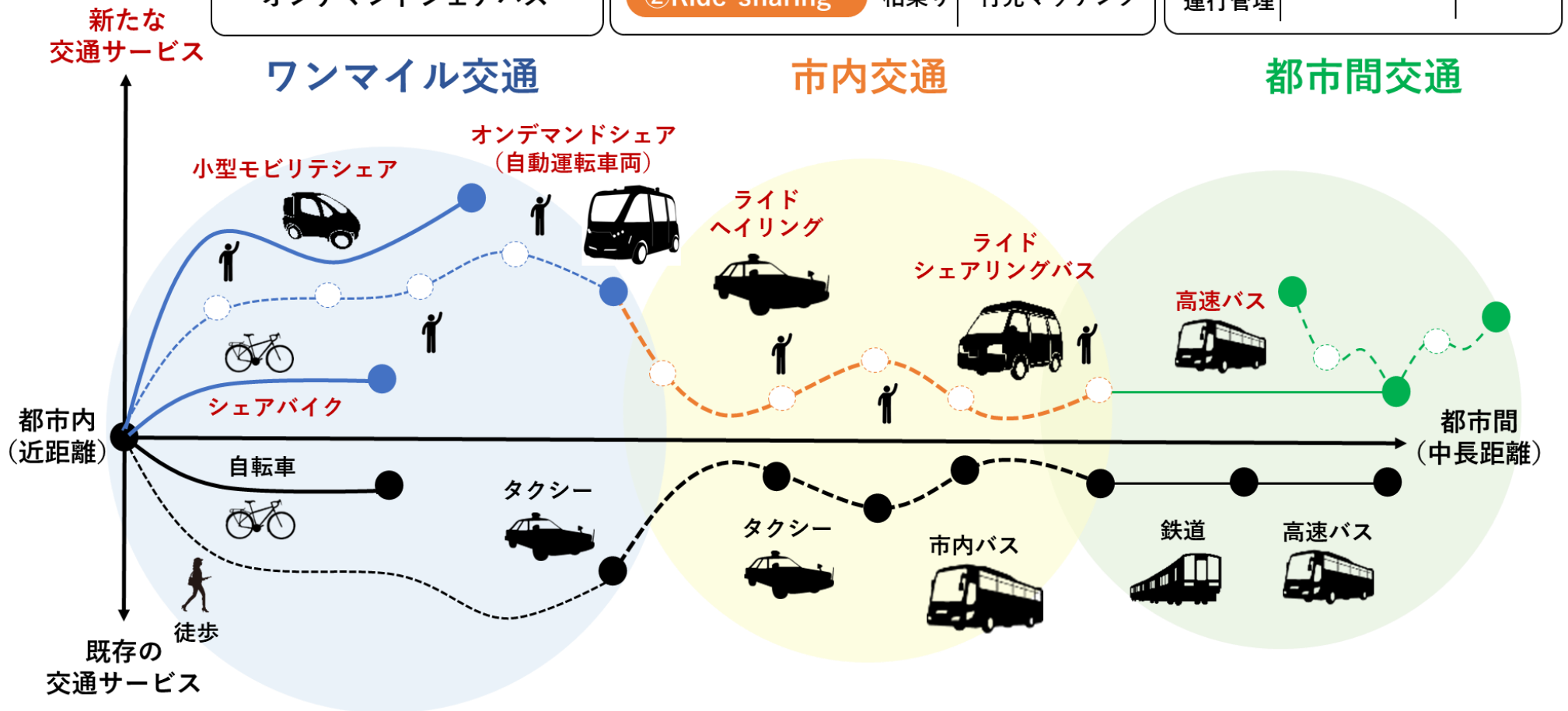
WILLER

# 交通空白地帯を埋める新たな交通サービス

**① Autonomous Driving**  
 オンデマンドシェアバス

**② Ride-hailing** 空いている人（ドライバー/一般）と移動したい人のマッチング  
**② Ride-sharing** 相乗り | 行先マッチング

**③ New Value Intercity Bus**  
 安全安心 運行管理 | マーケティング | 車両開発



# 京都丹後鉄道沿線 観光型MaaS



京都丹後の歴史ある観光資源を  
もっと自由に、直感的に行ける交通サービス  
地元コミュニティと繋がる

## 【京都丹後鉄道沿線地域MaaS推進協議会】

京都丹後鉄道沿線地域におけるMaaS事業について、交通事業者、沿線自治体及び団体が相互に連携して事業を推進し、利便性の高い持続可能な地域公共交通の確保に資することを目的とし発足いたしました。

◆9月17日設立総会の主な参加組織

### 沿線自治体

京都府、兵庫県、福知山市、京丹後市、宮津市  
舞鶴市、伊根町、与謝野町、豊岡市

### 交通事業者

丹後海陸交通株式会社、全但バス株式会社  
WILLER TRAINS株式会社

### 観光関係者

一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社  
一般社団法人豊岡観光イノベーション

### 観光団体

一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社  
一般社団法人豊岡観光イノベーション



国交省「新モビリティ推進事業」で地方郊外型「先行モデル事業」に選出

様々な移動手段・周辺施設におけるQRコードでの一括予約・決済機能を導入

## 地域の交通課題

### ① 鉄道・沿線交通の利便性

地域交通が低密度で交通空白地が多いことに加え、移動に関する情報(経路・所用時間・料金・乗車方法)が不足。

### ② 高齢者を始めとする免許非保有沿線住民の孤立

沿線住民の徒歩可能距離を考慮した地域交通が不足しており、マイカーなくしては気軽な外出ができない。

### ③ 地域交通事業者のチケットレス対応への投資負担

都市交通利用を前提としている既存のICカード等のシステム導入は、投資負担が大きく導入が難しい。

### ① アプリへのQRシステム導入、並びにQR読取システムの導入

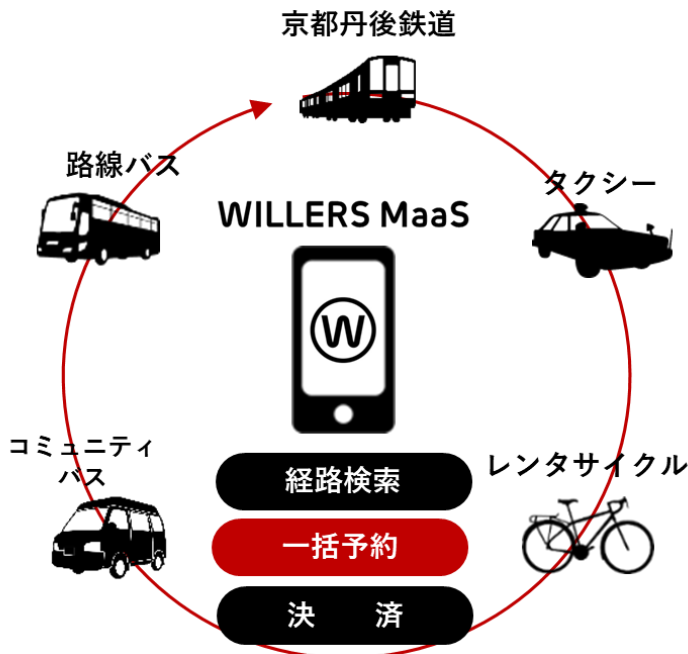
本実証でQRシステムを導入する事で、区間乗車含む全ての交通及び周辺施設での決済をアプリで可能とする。

### ② アプリならびにQRシステムから取得したデータの利活用

MaaSアプリの利用者属性データに加えて、QRデータから行動履歴及び消費履歴を把握すると同時に、データに基づくオンデマンド交通をはじめとする地域ニーズに根差した新交通サービスの企画や、地域計画に役立てる。

# 京都丹後鉄道沿線 鉄道+ラストワンマイル

車を持たなくても移動ができ、QRコードで乗れる



- ① 漁師と釣りができる遊漁船チケット購入  
※予約をしてQRコード提示で乗船
- ② 舟屋ガイドが案内する伊根歩きツアー  
※予約をしてQRコード提示で参加
- ③ 舟屋の里公園（道の駅）割引クーポン獲得  
お得に海鮮料理を堪能

事前決済によりQRコードをかざして乗車・利用



# MaaS普及に向けての課題と要望

## 地方における人口減少や高齢化、独居高齢者増加に向けた運行サービス

地方における人口減少は、公共交通の路線や運行本数を減らし、マイカーへの依存をさらに高めている。高齢化が進むことで高齢者の運転による事故の増加や、高齢者の外出の減少による孤立化が顕在化している。

### 現在のモビリティ



### ルート



### 頻度



### 料金



「高齢者が安心して、いつでも外出できる環境」を創ることが重要

#### 【インサイト】

- 自宅から目的地まで、行きたい時に行ける移動手段が欲しい
- 毎日の移動だから、その都度運賃を支払うのは経済的にストレスを感じる

#### 【必要な法的な整理項目】

- 固定路線を持たないオンデマンドシェアバスの運行
- オンデマンドによるシェアバスは、ひとり単価で販売
- 移動のストレスを無くすための定額制導入
- 道路運送法と旅行業法との整合性を検討  
(安全の責任、取消料、運賃設定、最少催行人員、等)